

教材事例書式

教材教具名 バーコードリピーター &カード	教科（英語）	情報提供者（ ）
教材教具写真		
教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等		
1 ねらい	音声と絵、文字によるマッチングで英単語をおぼえる。	
2 発達段階など	自閉症で発語がない場合	
3 使い方	<p>バーコード付きのカードをペン型のリピーターでなぞり、音声が出たら裏側を見て絵や文字、意味などを確認しながらおぼえていく。</p> <p>動物編、日常生活編、昆虫編、スポーツ編、形容詞編など市販の教材を使ってたくさんカードが作れるので、一人でも遊びながら学習できる。</p>	
児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）		
<p>特に英語やマッチングに興味を示す児童生徒には、長く使っていけるものと感じる。バーコードリピーターの操作もすぐに慣れてきて、音声が出てくるところも興味をひかれる部分のようである。一人で過ごす余暇の時間にも使える。カードはラミネートして保存できるようにしておく。</p>		

教材の工作手順や電気配線回路など提供可能な場合は裏面に解説をつける。

※② 書式に貼るデジカメ写真の画質はできたら低めをお願いします。

教材教具のことが分かれば、説明の文章は長くても短くてもよい。

提出ファイル名 例 一太郎：広島太郎時計 01.jtd ワード：広島太郎足し算 02.doc 等